

2023年7月5日

医療関係者各位

感染症流行時の新生児集中治療室（NICU）における家族の入室に関する提言

一般社団法人日本環境感染学会理事長 吉田 正樹
公益社団法人日本新生児成育医学会理事長 高橋 尚人
一般社団法人日本新生児看護学会理事長 内田 美恵子

1. はじめに

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは、世界中の人々に多くの影響を与えています。日本では、2020年の緊急事態宣言が発令され、医療機関は入院患者との面会を制限する方針を打ち出しました^{1,4}。この病院方針により、わが国の新生児集中治療室（NICU）においても、家族の入室が制限されるようになり、NICUに入院している新生児と家族の分離が、今なお続いています。2023年6月現在、病原性の低い新型コロナウイルス（Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2：SARS-CoV-2）オミクロン株の流行や、ワクチン接種の普及により、感染者の重症化/死亡のリスクは低下してきています⁵。一方で、オミクロン株は伝播力が強く、適切な医療を提供することができなくなるほどの感染者数の増加や、感染による医療従事者の就業者数の減少への懸念が残されています。

このような状況を踏まえ、一般社団法人日本環境感染学会、公益社団法人日本成育医学会、一般社団法人日本新生児看護学会は、私たちの組織が持つ学際的な視点と専門知識から、NICUにおける家族中心のケア（Family-Centered Care）を支援するために、家族の面会の考え方についてまとめました。私たちは、入院中の新生児にとって必要不可欠なケア提供者としての家族の存在を尊重し、必要な入室を行うことを提唱するために、この提言を作成しました。

2. 家族分離による影響

NICUにおける家族は単なる面会者ではなく、新生児にとって重要なケア提供者です。新生児と家族は、身体的な触れあいや時間の共有の積み重ねを通して、家族関係をはぐくんでいきます。しかし、生後直後からの親子分離によって、親子は身体的・心理的な接触の機会を喪失し、生後早期の親子の相互作用が阻害されています。親は子どもとの身体的・情緒的繋がりを感じにくく、育児技術の習得が遅れ、退院後の生活に不安や困難を抱えることが指摘されています。早産児の出産に加え、特に、長引くパンデミック下では、両親のストレ

ス、母親の周産期うつ、経済的不安、家庭内における虐待のリスクが高く⁶¹¹、このまま家族分離の状況が遷延することで、長期的な影響を含め、深刻な状況が懸念されます。

3. 新生児が親と分離されない権利を擁護する

「子どもの権利条約」(日本は1994年に批准)では、親子が分離されない権利(第9条)や、子どもの養育の責任は両親(保護者)にあること(第18条)が明示されています。NICUに入院している新生児もこれらの権利を有していることを踏まえ、医療者および医療機関はその権利を擁護する必要があります。これは、両親(保護者)が子どもの養育に対する責任を自覚し自立していく上で重要なことと思われま

4. NICUに入院中の新生児の家族の入室について特別に病院全体で検討する。

NICUでは、SARS-CoV-2を含むあらゆる感染リスクに対する懸念があります。私たちは、新生児と家族、職員にとって安全な環境を整えなければなりません。そのためには、NICUにおける家族の入室の方針を、施設の状況や地域の流行状況に応じて前向きに検討する必要があります。

NICUにおける家族分離の回避は、NICUのスタッフのみならず、感染制御チームや病院組織が一丸となり取り組むべき課題です。したがって、NICUに入室する家族について、感染対策の立案と実装について、NICUのスタッフと感染管理担当者が共同して検討することが必要です。また、遠隔(オンライン)面会が可能な環境を整えることも推奨されます。

5. NICUでは入院中の新生児の家族の入室が可能な環境を整える

1) 安全な入室のために医療従事者と家族が積極的かつ誠実に話し合う

NICUに家族が安全に入室できるようにするためには、家族にも医療従事者と同様の社会的・個人的な水準での、SARS-CoV-2を含めた感染を防ぐ努力を求めることが必要です。そのために家族と医療従事者は、コミュニケーションをとり、新生児のケアについての意識と方法を共有することが重要です。

2) 感染対策について家族へ情報を提供し必要な対策を求める

NICUでは、地域の感染症の流行状況や保健政策による「必要不可欠な対策」について家族とよく話し合い、家族へその情報共有の機会を提供することが必要です。また感染リスクの高い環境の回避、マスクの着用、手指衛生、社会的行動、施設が求める基準について、家族に情報提供し、家族の市中における感染やNICUに持ち込むリスクを最小限にすることを求めることが必要です。

3) 不必要な面会制限を行わない範囲で安全と考えられる家族の入室方法を構築する

2022年7-9月に国内で行われた調査で、面会者のCOVID-19感染事例を経験していた406施設のうち、新生児への感染が確認されたのは2施設(0.5%)であり、新生児から新生児へ

の二次感染は確認されていませんでした²。したがって、適切な感染対策を行うことで、家族の入室は可能になると考えられます。そのためには、NICU への入室者の健康状態のスクリーニング・システムを構築し、感染症の流行状況に応じて適宜改訂したり、NICU 入室時の手指衛生と不織布マスクの着用の励行を継続することが求められます。また、家族の市中における COVID-19 感染や NICU に持ち込むリスクを最小限にすることについて家族に説明し、協力を求めることが大切です。

引用文献

1. Ozawa M, Sakaki H, Meng X. Family Presence Restrictions and Telemedicine Use in Neonatal Intensive Care Units during the Coronavirus Disease Pandemic. *Children (Basel)*. 2021;8.
2. 森岡一朗, 戸石悟司, 和田友香, 荒堀仁美, 落合正行, 久保井徹, ほか. 新型コロナウイルス感染妊婦から出生した新生児の診療・管理方法および社会的影響に関する調査. *日本小児科学会雑誌*. 2023;127:519-29.
3. 一般社団法人日本環境感染学会. 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第3版. 2020.
4. 厚生労働省. 医療施設等における感染拡大防止のための留意点 について (令和2年2月25日厚生労働省医政局総務課, 厚生労働省医政局地域医療計画課, 厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡) . 2020.
5. 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識 (2023年4月版) . 2023.
6. 加治佐めぐみ, 蟻川麻紀, 吉元なるよ, 川野由子, 稲森絵美子, 永田雅子. 【メンタルヘルスの視点からみた COVID-19 感染の影響とその対応】 感染症蔓延下における新生児医療関連施設、外来でのメンタルヘルスへの工夫 周産期心理士からみた NICU の面会の変化と対応 心理士がとらえた赤ちゃんと母親の変化. *周産期医学*. 2022;52:898-901.
7. 鈴木美奈子, 石川真, 栗本ちえ子, 淀川祐紀, 森岡将来, 栗林ももこ, ほか. メンタルヘルス 2020 年の COVID-19 流行による産後うつについての影響. *日本周産期・新生児医学会雑誌*. 2022;57:855-7.
8. Broom M, Cochrane T, Cruickshank D, Carlisle H. Parental perceptions on the impact of visiting restrictions during COVID-19 in a tertiary neonatal intensive care unit. *J Paediatr Child Health*. 2022;58:1747-52.
9. Hugelius K, Harada N, Marutani M. Consequences of visiting restrictions during the COVID-19 pandemic: An integrative review. *Int J Nurs Stud*. 2021;121:104000.
10. Meesters N, van Dijk M, Sampaio de Carvalho F, Haverman L, Reiss IKM, Simons SHP, et al. COVID-19 lockdown impacts the wellbeing of parents with infants on a Dutch neonatal intensive care unit. *J Pediatr Nurs*. 2022;62:106-12.
11. Yance B, Do K, Heath J, Fucile S. Parental Perceptions of the Impact of NICU Visitation Policies and Restrictions Due to the COVID-19 Pandemic: A Qualitative Study. *Adv Neonatal Care*. 2023.